



米子市福市考古資料館通信

第20号

2026年3月



令和8年度の企画展

米子市福市考古資料館では、令和8年度に下記の企画展と考古学講演会を予定しています。



米子市富益で見つかった埋納銭の一部（寛永通宝）

春期の企画展として、「土の中か
ら見つかるお金」を開催します。諏訪
にしやまのうしろ
西山ノ後遺跡から出土した^{えなまいのう} 朧衣埋納
容器と^{わどうかいちん} 和同開珎、城跡、近世墓から
出土した銭貨などを展示して、銭貨
の歴史を紹介します。

会期は、令和8年4月22日(水)
～7月20日(月・祝)まで。また、期間
中の5月10日(日)には午後2時から
米子市文化ホール2階の研修室にて、

鳥取県立公文書館の高橋章司氏による、銭にまつわる講演会を開催します。

秋期には、「鏡が映した歴史」と題して、米子市内の遺跡から出土した鏡をはじめ、山陰
歴史館に収蔵されている古代から近代の鏡を展示します。

会期は、令和8年9月9日(水)から、令和9年1月18日(月)まで。また、期間中の9月27
日(日)には、午後2時から米子市文化ホール2階の研修室にて、学芸員による鏡の講演会
を開催します。

企画展を開催していない期間は、常設展を行っております。常設展では、米子市内の遺
跡から出土した資料を多数展示していますので、お近くに来られた際には、ぜひお越し下
さい。

福市考古資料館の二枚の写真パネル

当資料館は、国史跡・福市遺跡のガイダンス施設として昭和55年に開館してから、今年で46年目を迎えました。

館内には、米子市内の遺跡から出土した、たくさんの土器や石器などの遺物を展示していますが、展示室に入ってすぐ左手の壁面に、大きな白黒写真のパネルが二枚掛けてあります。

右のパネルは、昭和42年頃に福市遺跡吉塚地区の発掘調査現場を上空から撮影したものです。遺跡の中央部が道路によって大きく破壊されている姿が人々の共感を呼び、市民グループによる遺跡の保存運動が繰り広げられ、一部が国の史跡に指定されました。

左のパネルは、昭和46年から52年にかけて青木遺跡で行われた、住宅団地の造成に伴う発掘調査中の全景を捉えた写真です。青木遺跡の発掘調査は、40万㎡という当時としては空前の規模の調査でしたが、そのうちの5つの地区の4万㎡が国の史跡として保存され、史跡公園となっています。

この二枚の写真は、今も見学者に対して、数十年前に起こった開発と遺跡保護の問題を問いかけています。



発行日 令和8(2026)年3月31日
発行者 米子市福市考古資料館
指定管理者 一般財団法人 米子市文化財団
住所 〒683-0011 米子市福市461-20番地
電話・FAX 0859-26-3784
休館日 火曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)